

社会貢献活動

基本的な考え方

当社は、持続可能な社会の実現に貢献するために、「小野薬品社会貢献グローバルポリシー」のもと、さまざまな社会貢献活動を行っています。また、現在および将来の事業活動との関連性や自社の経営資源を考慮して、当社が注力すべき重点分野を決めたうえで取り組みを推進しています。

Web 小野薬品社会貢献グローバルポリシー
<https://sustainability.ono.co.jp/ja/themes/109#963>

医学・薬学の発展のための取り組み

当社は、いまだ満たされていない医療ニーズに応え、医学の発展に貢献できるよう取り組んでいます。

当社からの寄付を基金として1988年に設立された公益財団法人小野医学研究財団では、脂質代謝異常の分野に関する研究助成を行うほか、各種事業を通じて当分野の治療や研究の振興を図り、国民の健康と福祉に貢献しています。設立以来、研究助成および研究奨励助成を毎年行っており、2021年度には早石修記念賞1名、研究助成対象者12名、研究奨励助成対象者(満40歳以下)16名が、それぞれ選ばれました。

また、生化学に関わる生命科学全般の研究に意欲的な研究者の海外留学を後押しする公益社団法人日本生化学会の新事業「早石修記念海外留学助成」に対して、2017年度から支援を行っています。2021年度も8名の研究者への支援を行いました。加えて、ONO Pharma Foundationによる海外研究者への研究助成を通じて、研究の振興を図り、イノベーションの土壌づくりに貢献しています。

患者さんとその家族のための取り組み

患者さんとその家族をはじめとして、広く人々の健康に資するために、以下のような活動に取り組んでいます。

■ 医療情報の発信

コンテンツやアプリを通じて、医療に役立つ最新情報を継続的に発信しています。

● 疾病関連の市民公開セミナーへの協力

疾患啓発や正しい情報の発信を目的として開催される疾病関連の市民公開セミナーへの協力・開催を行っています。2021年度はリウマチ、がん、糖尿病などの領域を中心にWebセミナーを計5回実施し、約700名の方が参加しました。

● 「患者さんにご家族の皆さまへ」

身近な病気の具体的な症状や治療、普段心がけるべきことについて、解説するサイトを運営しています。

● 「ONO ONCOLOGY(一般・患者さん向け情報)」

監修医の協力を得て、がん領域の疾患や治療、がん免疫の概念を学ぶことができるサイトを運営しています。2020年度には、コ

ロナ禍におけるがん患者さんの治療や生活のサポートを行うことを目的に、「がんと新型コロナウイルス～感染拡大下における留意点～」のページを新たに追加して科学的根拠に基づいた適切な情報提供を行いました。

● 「笑顔とこころでつながる認知症医療」(2022年3月末にサイト閉鎖)
 治療や介護に携わる方たちとともに認知症を考えるサイトを運営しました。

● 「バアちゃんの世界」

認知症啓発ショートムービーを公開しています。

● 生活習慣病患者さん用のアプリ(2021年6月末に提供・運用を終了)
 生活習慣病の患者さんのサポートを目的としたスマートフォン用アプリケーションソフトの無償提供を行いました。

● 「ふくサポ®」(副作用管理支援デジタルツール)

免疫チェックポイント阻害薬で治療を受けている患者さんの体調管理を通して、特に免疫関連有害事象に関する副作用の早期発見・早期治療の手助けとなる支援ツールを無償提供しています。

■ そらぶちキッズキャンプへのサポート

当社は2014年度より、難病の子どもの夢の医療ケア付きキャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」(北海道滝川市)の賛助会員として継続的にサポートしています。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、キャンプ運営を縮小せざるを得なくなったなかでの新しい企画「スノーギフト」へのサポートを行いました。

スノーギフトはキャンプ場の雪を箱に詰めて、雪の降らない地域の病院などに届けて雪遊びをしていただくという企画ですが、病院内でのスムーズな荷物の受け渡しができなかったケースがありました。そこで、日頃から病院に訪問・活動している当社MRが荷物を受け取り、医療機関の担当者へ直接「雪」を届ける「雪運びボランティア」としてのサポートを行いました。2021年度は2022年1月～3月にかけて、当社のMRが6つの医療機関において担当者にスノーギフトを手渡しで届け、雪に触れる機会のない入院中の子どもたちに雪遊びの楽しさをプレゼントすることができました。後日、雪遊びをした子どもたちや保護者、医療スタッフから喜びの声が届けられ、参加した社員からは、「楽しみ(雪)を届ける」お手伝いができてよかったとの感想が寄せられました。

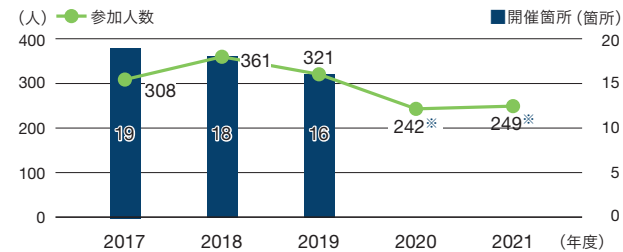


雪で遊ぶ子どもたち

■ 「リレー・フォー・ライフ」への参加(2014年度～)

がん患者さんやその家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧を目指す活動に参加しています。2020年度および2021年度は、セルフウォークリレーに参加しました。

■ 「リレー・フォー・ライフ」への参加実績※



※ 2020および2021年度はセルフウォークリレーの参加人数のみ

子どもたちの健康につながる教育

未来を担う子どもたちの育成を支援するための教育活動に積極的に取り組んでいます。

■ 高等学校のがん教育に対する取り組み

2022年4月の高等学校での「がん教育」の本格開始を控え、各学校の判断にゆだねられている授業内容や教材などに対して、現場で不安の声が上がっています。これを受けて、がん専門医や行政担当者、教育関係者が集まり、がん教育を推進するための課題を抽出するための「がん教育大阪サミット」を開催しました。

子どもたちががんについて正しい知識を身につけ、健康と命の大切さを学ぶ「がん教育」を推進するために、抽出された課題の中で当社が対応すべき課題は何かを、関係者と調整をとりながら2022年度以降に対応を進めていきます。

■ 「すこやかラダ大作戦」の実施(2014年度～)

被災地の社会的課題の一つである小児肥満の改善に貢献するために、トップアスリートや生活習慣病の専門医と連携して、東日本大震災復興支援活動を行っています。2019年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しています。



2019年3月実施時の様子

■ 「理科の出張授業(薬のヒミツ・マナブ)」(水無瀬研究所：2015年度～、城東製品開発センター：2019年度～)

事業所近隣の小学校6年生を対象として、理科学習への関心を高めることを目的に、当社の研究員が講師となって出張授業を

実施しています。



宝栄小学校(上)と島本町立第三小学校(下)での出張授業の様子

■ 歯ブラシの寄贈(水無瀬研究所：2014年度～、城東製品開発センター：2018年度～)

事業所近隣の小学校や幼稚園・保育所の子どもたちに、6月4日～10日の「歯と口の健康週間」にあわせて、歯磨きセットおよび歯ブラシを寄贈しています。

■ 劇団四季／一般財団法人舞台芸術センター主催「こころの劇場」への協賛(2017年度～)

生命の大切さや人への思いやりについて考えるきっかけを作るために、子どもたちを劇場に招待して舞台鑑賞する機会を設けています。2021年度は動画配信にて実施しました。



『はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～』
(撮影：樋口隆宏)

■ 「こども本の森 中之島」への協賛(2017年度～)

子どもたちに多様な本を手にとってもらい無限の想像力や好奇心を育て、ほしいという本施設の思いに共感し、本施設の運営を支援しています。

Web 社会貢献活動
<https://sustainability.ono.co.jp/ja/themes/131>